令和７年度みどり戦略学生チャレンジ関東ブロック大会　取組グループ紹介

ホップ･サステナビリティ･サイクルの確立

グループ名

ホップサステナビリティチーム
（神奈川大学附属中・高等学校）

【活動グループの紹介】

神奈川大学附属中・高等学校は、１学年220名程度の完全中高一貫校であり、広大で自然豊かなキャンパスがあります。
理科部「ホップサステナビリティチーム」の皆さんは、部活動として、高校２年生３名・高校１年生１名・中学２年生５名の計９名で活動しています。
ビールの原料の一部であるホップの魅力の発揮不足や、廃棄問題の解決に繋げるため、ホップが有する様々な効能を生かした「ホップサステナビリティプロジェクト」という、栽培、研究、商品化、環境、発信、再利用のサイクルを行うプロジェクトを立ち上げ、取組にチャレンジしています。

神奈川大学附属中・高等学校　←**学校の詳細はこちらから！**

【取組の紹介】

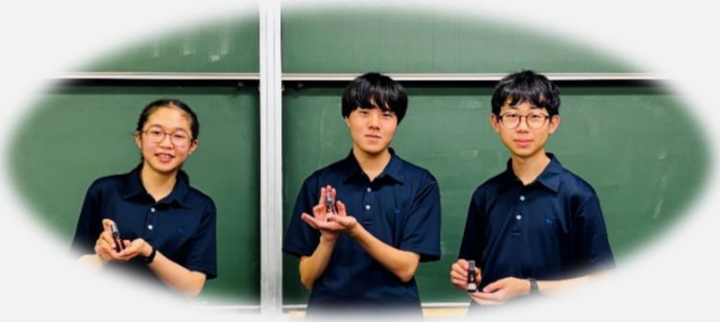
研究フェーズでは、ホップの香りの官能調査や、ホップの苦み成分のDNA分析を行うほか、効能の一つである抗菌作用の検証を行っています。
商品化フェーズでは、収穫したホップの毬花や葉を利用したホップタンブラーやアロマミストを試作しているほか、アロマキャンドルは中学３年生の探求の授業の一環として、授業の中で作製しています。
また、今回使用したホップを次回のホップ栽培の堆肥とするため、コンポストの制作も行っています。
そのうちアロマキャンドルについては、昨年に引き続き、学校の文化祭で販売することとしています。

Q1　ホップは自分たちで栽培しているの？

生育環境の違いによる収穫量を調べるため、神奈川大学横浜キャンパス、同みなとみらいキャンパス、附属中・高等学校の敷地内の３か所で、ホップの品種の一つであるカスケード種を栽培しています。

Q2　今年の文化祭でホップ商品を売るのか？

アロマキャンドルについては、昨年に引き続き販売予定です。タンブラーとアロマミストについては、まだ試作段階であるため、今年の文化祭には間に合わないが、今後販売したいと考えています。



ホップの魅力を
最大限発揮させる！！

Q3　昨年の文化祭でキャンドルを販売した時の反応は？

立ち寄る方は、ビールで使われているあのホップ⁉と驚かれますが、こちらが説明をすると、興味を持ってくれて、複数個購入してくれたりもしました。これまでの試行錯誤を続けて制作したので、やりがいを感じています。

Q4　今後の目標は？

タンブラーとアロマミストは、商品化を目指していきます。コンポストについても、堆肥製作に適した土をこれから調査していく予定です。

取材を終えて

○「ホップサステナビリティチーム」の皆様、取材へのご協力、ありがとうございました！
昨年に引き続き、学生チャレンジへの参加となりますが、既に昨年から取組内容がアップグレードされていて、驚きました。世間的には、ホップといえばビールというイメージが強いですが、ホップの持つ効能に着目し、ホップタンブラーやアロマミスト等を試作しているというお話から、ホップの可能性は自分の想像以上にあるのだなと改めて感じました。
今後もホップを使ってどんな商品が生まれるのだろうか、それを見た周りの反応ってどんな感じなんだろうとわくわくが止まりません。これからの活動も応援しています！

○お忙しいところ取材させていただき、ありがとうございました。
今までホップに対して着目したことがなかったので、こんな効能があったのか！こんな商品が作れるのか！と驚きました。
また、授業にも取り入れてアロマキャンドルを製作することに、ホップサステナビリティチームだけでなく、学校一丸となって取り組んでいる様子が伺えました。
これからもホップサステナビリティサイクルの確立に向けて、楽しみつつ取り組んでいってください！

神奈川大附属中・高等学校の皆さん
ありがとうございました！